

親子で体験!こんがりパン教室

かるがも学級「こんがりパン教室」を12月5日、お菓子のさかい本店（石川町）で開催しました。

当日は、8組20人の家族が参加し、生地からバターロールやカレーパン、クリームパンなど5種類のパンの他、ウィンナー、ハム、チョコ、チーズなどの材料を使ったオリジナルパンの製作を行いました。焼きたての香ばしい匂いと、こんがりとした焼き上がりに子ども達の笑顔があふれました。



おいしそうな焼き上がり!



協力して生地作り



美しい伝統文化「水引細工」に触れる

レディースセミナー（夜の部）第3回学習会「はじめての水引講座」を12月2日、役場別棟会議室で開催しました。

当日は、16人が参加し「抱きあわじ結び」「梅結び」を練習した後、水引を用いた「お正月飾り」を製作しました。



自分で打ったお蕎麦で年越しを

そば打ち教室を12月12日・19日に中倉一集会所で開催しました。

講師に中倉くれつぽそば会（会長 戸賀重義さん）の皆さんを迎え、14人の参加者がそば打ちを体験しました。

参加者は、そば粉の混ぜ方や練り方、切り方、ゆで方などを熱心に学び、自分達で切ったおいしい新そばを試食しました。



消防署からのお知らせ

みんなで守ろう文化財

毎年1月26日は、「文化財防火デー」に制定されています。

昭和24年1月26日に世界歴史遺産に登録されている法隆寺（奈良県）の金堂が炎上し、貴重な壁画等が失われましたが、この事件を期として、昭和25年に文化財保護法が制定されました。

その後、昭和30年からは、1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災、震災その他の災害から守るために、文化財愛護に関する意識の高揚を図るとともに、消防演習などを実施して文化財を火災から守る運動を展開しています。

日本の文化財は、木や紙などの燃えやすい素材で造られているものが多く、一度火災になると、大きな被害を受ける危険があります。

2019年には、ユネスコの世界文化遺産に登録されているフランスのノートルダム大聖堂及び沖縄県那覇市の首里城跡において大規模な火災が発生し、社会的な注目を集めました。

冬季は火災が多発する時期となりますので、火の用心を常に心がけましょう。



住宅用火災警報器は、設置が義務化されてから10年以上が経過しています！

電池切れアラームや作動確認異常の際は、本体交換をお勧めします！



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。

適切に機能するためには維持管理が重要です。「いざ」というときに住宅用火災警報器が適切に作動するよう、定期的に作動確認を行い、取り付けから10年を目安に本体交換を行うよう習慣づけましょう。

石川消防署平田分署 ☎ 0247-55-2213

交通事故を防ごう

令和3年に発生した人身事故の件数は前年から減少したものの、物損事故を含めた交通事故の総件数は増加となりました。

令和3年平田村内の交通事故発生状況（11月末現在）

- 死亡事故…0件（前年比±0件）
- 人身事故…3件（前年比－3件）
- 傷者数…5名（前年比－3名）
- 物損事故…79件（前年比＋16件）

※うち人身事故2件、物損事故31件が国道49号での発生

緊急事態宣言の解除等により、今後さらに人の流れが変わり、それに伴い交通状況にも変化があると予想されます。

運転中や歩行中など、外出時の注意を怠らず、事故に遭わないように心掛けてください。

地域の安全安心は皆さんの協力で成り立ちます。

今年も村民みんなで安全安心な平田村にしましょう！

平田駐在所 ☎ 55-2006